

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

平成30年1月19日

釧路市議会議長 渡辺 慶藏 様

会派名 新創クラブ

代表者名 畑中 優周



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	大越 拓也
出張先	東京都
期間	平成30年1月16日 ～ 平成30年1月17日 (2日間)
用務	行政視察
調査(研修)結果等の概要	別紙参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

## 地域に開かれた学校づくり（学校評価について）

視察日：平成30年1月16日（火）

視察地：東京都東京都杉並区 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク

視察担当者：中央教育審議会委員、特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク代表、杉並区立天沼小学校コミュニティースクール委員 生重 幸恵 氏

視察参加者：大越 拓也（文責）

学校評価は、学校における教育活動その他の学校運営の状況について客観的に分析・評価して、今後の学校改善に生かすためのもので、「自己評価」「学校関係者評価」「第三者評価」の3種類がある。

「自己評価」は、学校評価の最も基本となるものであり、校長のリーダーシップの下で、当該学校の全教職員が参加し、設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行うもの。

「学校関係者評価」は、保護者、学校評議員、地域住民、青少年健全育成関係団体の関係者、接続する学校（小学校に接続する中学校など）の教職員その他の学校関係者などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行うものである。

「第三者評価」は、学校とその設置者が実施者となり、学校運営に関する外部の専門家を中心とした評価者により、自己評価や学校関係者評価の実施状況も踏まえつつ、教育活動その他の学校運営の状況について、専門的視点から評価を行うものである。法令上、各学校は、学校評価のうち、自校の教職員で行う「自己評価」については、実施と公開、設置者への報告は義務。「学校関係者評価」の実施は努力義務であるが、実施した場合は、設置者への報告が義務。「第三者評価」は任意となっている。また、「学校評価」は、幼稚園、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等にもそれぞれ準用され実施することになっている。

文部科学省の学校評価ガイドラインには、「自己評価を行う上で、児童生徒や保護者、地域住民を対象とするアンケートによる評価や、保護者等との懇談会を通じて、授業の理解度や保護者・児童生徒がどのような意見や要望を持っているかを把握することが重要である」とし、そのなかで、「このようなアンケートや懇談会の実施を『外部評価』ととらえてきた例もみられたが、現在はそれに留まらず『学校関係者評価』としての保護者等による評価の実施に努めることが法令上求められている。アンケート等については、学校の自己評価を行う上で、目標等の設定・達成状況や取組

の適切さ等について評価するためのものにとらえることが適当であり、学校関係者評価とは異なることに留意する。本ガイドラインにおいては、これを『外部アンケート等』と称する。」と記されている。



問：学校関係者評価は、自己評価の結果の「評価」を行うものであり、市内の各学校においては、学校運営協議会やコミュニティースクール協議会を活用して「学校関係者評価」を行っているが、市内では、適切に自己評価の結果をもって評価が行われていない学校が一部あると伺っている。ガイドラインに沿った適切な内容で実施されていないことについてどう思われる。

回答：地域に開かれた信頼される学校づくりにおいても、学校評価などの情報は、学校のHPなども活用し積極的に公開すべきである。また、市教委も各校の傾向を知り対策を講じるうえで極めて重要な情報であり、学校評価の情報が活用されていないのであれば驚きだ。

全国の事例と比較すると釧路市は一部ガラパゴス化とのこと。釧路市については、学校によって評価項目や公表の内容、実施方法にもバラツキがあることについても問題である。市教委から評価項目のひな型を各校に示すことや、ガイドラインに沿った適切な実施について指導を行うとともに、市教委においても報告結果をPDCAサイクルなどで有効に活用すべきであると考え。北海道出身でもある生重先生からは「釧路のために何か協力したい」と有り難い申し出があり、次回は釧路でお会いできるよう取り組んで参ります。学校評価の件については、次回の議会で質問する予定である。